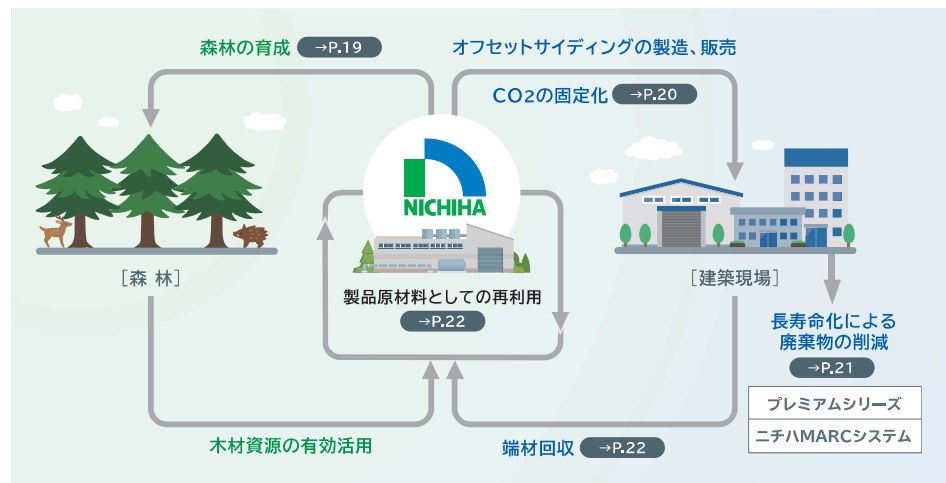


環境への取組 ― 循環型社会の形成

当社は創業以来培ってきた木材資源の活用技術を活かし、社会のニーズに沿った環境貢献製品の開発に取り組んでいます。当社の木材資源活用による環境貢献製品の代表が「オフセットサイディング®※1」です。原材料に木材チップを活用することで、木の成長過程で吸収したCO₂を製品に閉じ込め（固定化）、CO₂の削減に貢献しています。

また、建築現場で発生する当社製品の端材を回収し、原材料としてリサイクルする「端材回収リサイクルシステム」の運用によって、廃棄物の原材料としての再利用を実現しています。さらに、産業廃棄物削減の取組として、超高耐候塗料の採用により外壁の長寿命化を実現した「プレミアムシリーズ」や、建物自体の長寿命化に貢献する「ニチハMARCシステム」などを開発しています。

※1「オフセットサイディング®」はニチハの登録商標です。



森林の育成への貢献

森林を活性化させるには「植える→育てる→伐採する（間伐、主伐）→使う→植える」というサイクルが必要です。

当社は木材資源の有効活用により長年「使う」ことに貢献してきました。「使う」ことが伐採を促し、そこに新しい木を「植える」ことで森林は活性化されます。木は若木の時に多くのCO₂を吸収するほか、森林は土壌を豊かにし、水を貯え、多様な生物の生息地となり、土砂災害の防止や水源涵養といった様々な機能を発揮します。

また、産地との協働による再造林事業にも積極的に取り組むことで、「植える」にも貢献しています。2023年度に大分県の再造林事業への寄付を実施し、2024年度には、大分県、大分県森林再生機構との「早生樹による再造林の推進に関する協定」を締結しています。

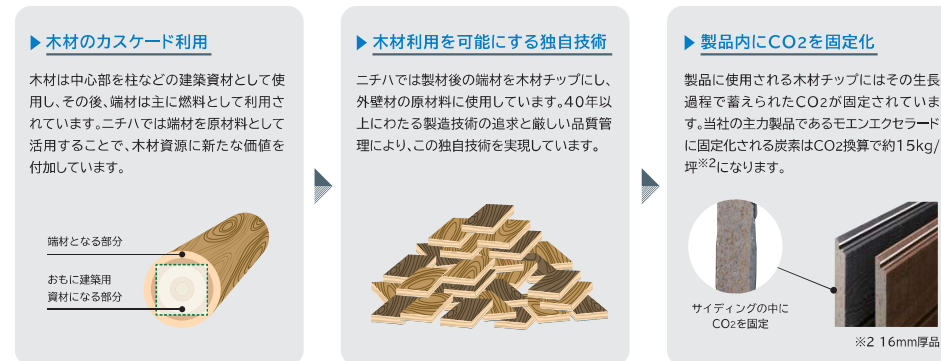


左から ニチハ吉岡社長、大分県知事佐藤様、大分県森林再生機構理事長井上様

木材活用によるCO₂の吸収・固定

当社のオフセットサイディングは、原材料に国産の木材チップを使うことで木が生長した過程で吸収した多くのCO₂を製品内に固定化しています。当社はオフセットサイディングの拡販を通じてCO₂の固定量を増加させることで、カーボンニュートラル社会の実現に貢献しています。

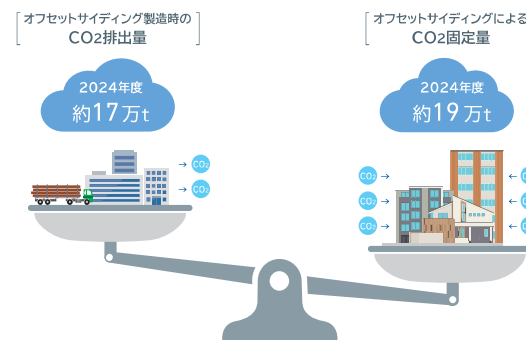
また、環境省の2021年度補正予算で実施された、食と暮らしの「グリーンライフ・ポイント」推進事業（執行団体：一般社団法人地域循環共生社会連携協会）において、オフセットサイディング（外壁、屋根下地の製品）を使用する住宅購入に環境配慮ポイントを発行する取組が採択されました。



オフセットサイディングによるCO₂固定量

当社はオフセットサイディングの製造・販売により、オフセットサイディングを製造する際のCO₂発生量を上回るCO₂を固定化しています。モエンエクセラードの製造開始から約30年間、生産販売量の拡大とともにCO₂固定量※3も増え、地球環境への貢献度を高めています。

※3 当社が示すCO₂固定量は、林野庁における「建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示に関するガイドライン」に基づいて計算したものです。また、固定されるのは炭素（C）の状態ですが、分かりやすいため二酸化炭素（CO₂）で表現しています。



都市を第2の森林に

森林の有する多面的な機能の中に、大気中からCO₂を吸収して固定化する環境保全機能があります。当社は原材料に木材を使用するオフセットサイディングの製造・販売を通じて、都市をCO₂の固定化機能を有する第2の森林にすることを目指しています。

